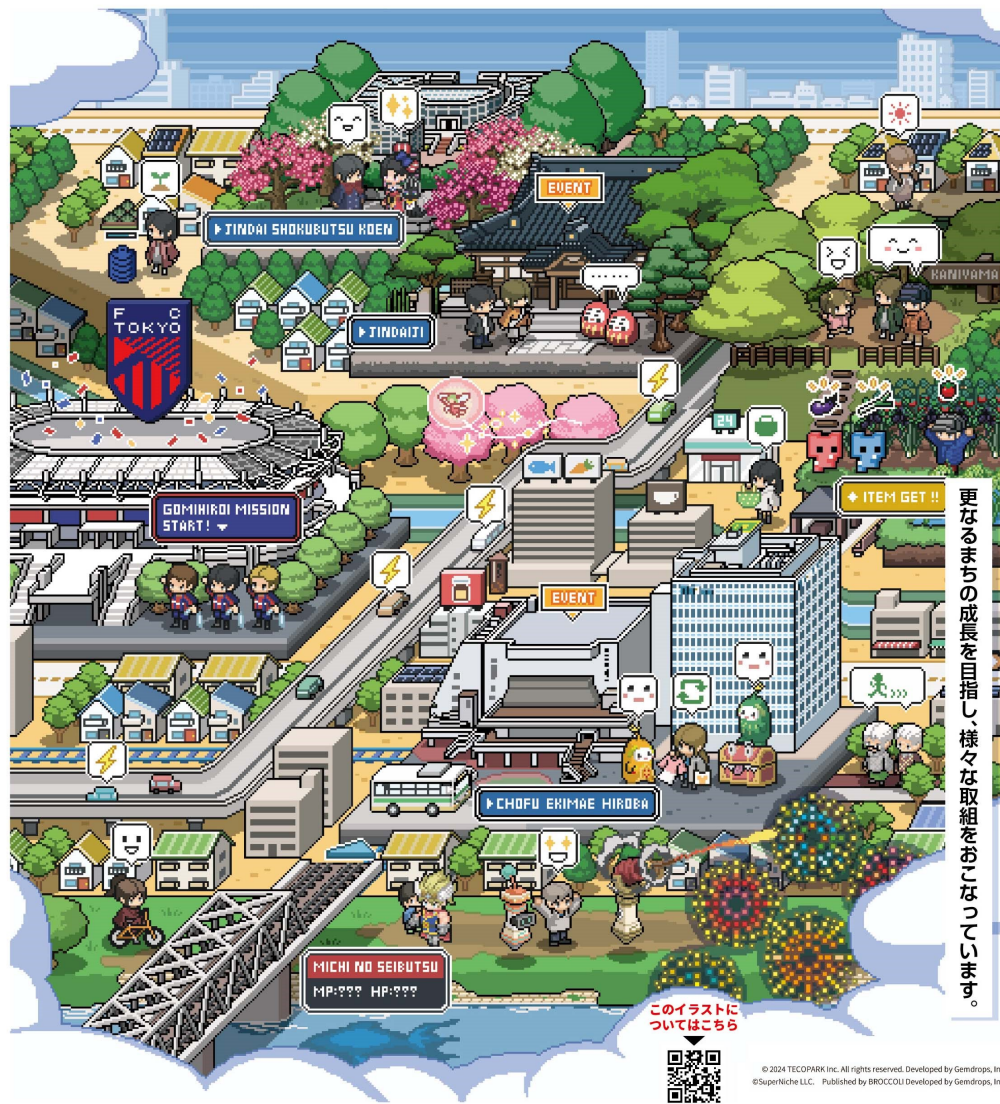




調布市では新たな施策の実施や、職員のチャレンジを受容する環境や風土があります。

更なるまちの成長を目指し、様々な取組をおこなっています。

## 職員とともに成長するまち調布

### 調布市立小学校児童への 早朝見守り事業「みまモーニング」

市では、朝の保育園の開始時刻と小学校の登校時刻が異なるなどによる、「朝の小1の壁」の解消に向けて、学校始業前まで、見守り員（市が業務委託）が児童の見守りを行っています。



### 中学生海外体験学習事業

次代を担う調布市の中学生が、外国の文化、生活等を直接体験することで、多文化共生への理解を深めるとともに、国際的な視野やコミュニケーション能力を得て、国際社会で主体的に行動できるグローバルな人材へと成長する契機とすることを目的として実施しています。令和7年度は、8/16～8/24に市立中学の2年生20人がオーストラリア・パースを訪れました。



# こんな人と働きたい!!

## 聴き、考え、伝えることができる人

### コミュニケーションをとることが好きな人

私たちの仕事は、市民の方にサービスを直接提供することがメインとなるため、人に説明する能力が大切です。また、職員だけでなく、市民や関係者の方と連携しながら業務を進めていくため、自ら積極的にコミュニケーションをとれる人材を求めています。



### 自ら率先して周囲の人と協力し問題を解決する人

様々な課題を解決するためには、職員だけでなく市民や関係者等の様々な人達と連携しながら仕事を進めることが重要となるため、自ら率先して周囲の人と協力し、問題を解決する人を求めています。



## 柔軟に考え、自律的に行動できる人

誰もがいきいきと生活できるまちづくりを進めていくためには、様々な人の意見を受けて、柔軟に事業を進めていく必要があります。また、社会環境が変わる中で、事業を効果的・効率的に実施するために、新たな手法や手段を考え、実行できる人材を求めています。

### 時代や社会情勢の変化を敏感にとらえることができる人

市民のニーズを的確にとらえるだけでなく、時代や社会情勢の変化を敏感にとらえることができる人を求めています。



### 柔軟な発想で考え、実施に向けて具体的な提案をすることができる人

「前例踏襲」ではなく新たな方法や手法等に挑戦し、効果的・効率的に業務を進める視点を持った人を求めています。

## 市長あいさつ CHOFU

皆さんは、どのような思いで働く場所を選びますか。

誰かの役に立ちたい。地域や社会に貢献したい。自分自身を成長させたい。その思いは一人ひとり異なると思います。しかし、自分の仕事がまちの未来につながり、多くの人の笑顔や安心を支えていることを実感できる仕事は、決して多くありません。

人口構造の変化や少子高齢化の進行、防災・減災への対応、デジタル化の進展など、自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした時代において、市民の声に耳を傾け、地域に足を運び、多様な主体と協働しながら未来を的確に見据え課題を解決し、まちづくりを進めていくことが、これからの市役所には求められています。

調布駅前広場の完成を経て、新たなステージへと進んだ本市において、これからの調布をさらに魅力あふれるまちへと発展させるためには、新入職員の皆さんの新しい視点や情熱、そして挑戦する力が必要です。責任が大きい分、自らの手で地域の未来を形づくる仕事には大いにやりがいを感じてもらえると思います。

市民とともに歩みながら、いきいき、わくわくできる調布の新時代を私たちと一緒に創っていきましょう。

皆さんのチャレンジを心からお待ちしております。



調布市長  
林 明裕